

# 政務調査研究視察 報告

平成19年2月28日提出

視 察 日	平成19年 2月 24日 (金)
視 察 先	福 岡 市
視 察 内 容	「アクロス福岡」について
視 察 者	近藤隆志、稲垣良美、柴田泉、蜂須賀喜久好、山崎憲伸、山崎泰信、園山康男 計 7名

## < 公民複合施設「アクロス福岡」について >

アクロス福岡の会議室（8F）にて施設の概要、(財)アクロス福岡の概要（事業、施設利用状況、利用者の声など）岩田管理部長から説明を受けました。



▲熱心に話を聞くメンバー

アクロス福岡は1995年に誕生（建設されて12年）しました。

デザインが良いせいか建設され12年経ってもすっかりアピールしています。

福岡県庁舎が、天神から東公園に移転し、跡地利用を検討する中で「県庁北側跡地利用に関する基本構想」が策定され、公民複合施設として「国際・文化・情報の交流拠点施設」として進められたようです。



▲アクロス福岡南壁面

建築概要 地上14階、地下4階（最高の高さ60m）、建設費 540億円。

設計は、6グループがコンペに参加（PFIという言葉のない頃）決定。

公民の区分 民間部門が60%（100社）、公共部門（福岡県）が40%を所有。



▲アクロス福岡内部

県施設と民間施設で構成されており、それぞれが個性豊かな施設が融合し、機能の相乗効果を発揮する複合施設となっています。

福岡シンフォニーホール（1870席）、イベントホール、国際会議場、交流ギャラリー、会議室、オフィス、ショッピングゾーン、レストランなどがあります。

### アクロス福岡〔5つの理念〕

- ・芸術性と楽しさのアクロス（芸術性の高い良質の音楽・舞台を提供する）
- ・育てるアクロス（音楽を聴く、演奏する、支える人を育成する）
- ・地域とともに歩むアクロス（地域に根ざした芸術文化振興ネットワークを形成する）
- ・アジアのアクロス（芸術文化を通じた国際交流を推進する）
- ・創り出すアクロス（新たな芸術文化を創造する）

市

国際会議場とシンフォニーホールで収入の50%、施設サービス事業（30施設）で年間6.5億円の収入があるようです（施設の稼働率は86%）。



▲ステップガーデン

建物の南壁面には、ステップガーデンがあり、76種類、3万6000本の植物が植えられており、公園の感覚で屋上（60m）まで登ることが出来、市民の憩いの場となっています。

近くにこのような建物があったら最高ですね！

財団法人アクロス福岡を立ち上げ、すべての管理を行っている（県から出向の職員は20人であったが今は5人、館長も民間人）。

**〔感想・岡崎市への反映〕**

岡崎市においても民で出来るものは民に任せ、採算が合うような運営が必要であると思います。

今、「岡崎市図書館交流プラザ」を周辺整備を含め100億円で進めています。完成した後の運営がしっかり出来るようにすることが重要であり、大切なことだと思います。



▲視察メンバー